はじめに

・大津市の概要

・大津市の歴史

・大津市の変遷

大津市の概要

総人口：341,418人
　男：165,571人
　女：175,847人
世帯数：139,110世帯

面積：464.10 ㎢
（内琵琶湖水面90.04 ㎢）
大津市役所の位置：東経 135°51′17″
北緯　35°01′04″

（平成24年8月31日現在）

大津市の歴史

■沿　革

大津市は滋賀県庁の所在地で、本州のほぼ中央、琵琶湖国定公園の西南端にあって、京阪神、中京及び北陸の三経済圏の要にあります。

前面に日本最大の湖「琵琶湖」を、背後に比良、比叡、音羽山系を控え、この山々を境に京都市に隣接しています。市域は、東西20.6㎞、南北に45.6㎞と南北に細長い都市です。

● 縄文時代 ～ 安土桃山時代

大津に最初に人が住みついたのは縄文早期で、2世紀頃前半の景行天皇の御代に現在の大津市穴太に高穴穂宮が造営された時にはじまるといわれています。その後、667年に天智天皇が大和から大津に皇居を定め遷都されました。

文治元年（西暦1185年）11月には源頼朝が近江源氏佐々木氏を守護職とし、京滋の要衝として大津に奉行を置いて町の繁栄に備え、天正2年（西暦1574年）に織田信長が大津に宿場を設けて次第に栄えました。

● 安土桃山時代 ～ 江戸時代

天正13年（西暦1585年）豊臣秀吉が今の浜大津に大津城を築き、水運を開拓し交通を統制したのが世に名高い「大津百艘船」の隆盛期です。

徳川氏の天下となって元和3年（西暦1617年）に大津を幕府の直轄地とし、米穀を貯蔵し京滋の備えとして以来、近江国の産米は大津へ集め京阪輸送への要地としたことからその繁栄はすばらしいものとなりました。

● 近　代

明治4年大津県が置かれましたが、その年廃藩置県の令があって翌5年に滋賀県と改称され、近江全国は滋賀県の管轄となったことから、大津は県都として今日の礎を築いてきました。

明治22年に大津町制を施行、さらに同31年10月1日に大津市制を施行するに至りました。

● 現　代

昭和年代になって、7年に滋賀村、8年に膳所町、石山町、26年に雄琴村、坂本村、下阪本村、大石村、下田上村、42年に瀬田町、堅田町と合併し、近畿の中核都市としての都市基盤を整えつつ、平成10年に市制100周年を迎えました。

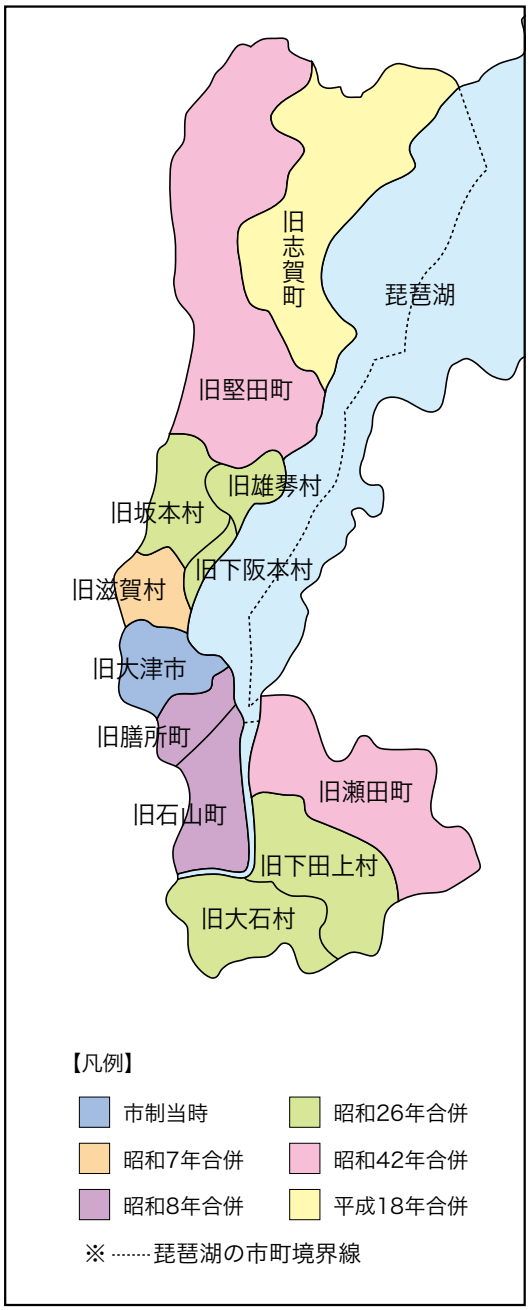
平成15年には人口30万人に到達するとともに、京都、奈良などに続く全国10番目の古都として政令指定されるなど、県都にふさわしい都市として発展しつづけています。平成18年には志賀町と合併し、平成20年に市制110周年を迎え、平成21年4月には中核市へ移行し、さらなる飛躍を遂げています。

大津市の変遷

(1) 自　治　制

実施年月日	区　　分	面　積 (㎢)	人　口 (人)	名　称	所　在　地
明治22年 7月	町制施行	14.20	28,941	大津町	上京町町役場開設 (現札の辻)
明治31年10月 1日	市制施行	14.20	32,446	大津市	〃 市役所開設
大正 5年 6月27日	市庁舎移転	〃	〃	〃	橋本町 (現浜大津一丁目)
昭和 3年10月13日	市庁舎移転	〃	〃	〃	〃
昭和 4年 6月	都市計画都市に指定	〃	〃	〃	〃
昭和 7年 5月10日	滋賀郡滋賀村を合併	28.39	42,364	〃	〃
昭和 8年 4月 1日	大津市、滋賀郡膳所町及び同郡石山町を廃し、その区域をもって新たに大津市を置く	62.48	69,116	〃	〃
昭和26年 4月 1日	栗太郡大石村、下田上村及び滋賀郡坂本村、下阪本村、雄琴村を合併	154.50	102,860	〃	〃
昭和42年 3月 6日	市庁舎移転	154.50	119,462	〃	御　陵　町
昭和42年 4月 1日	栗太郡瀬田町及び滋賀郡堅田町を合併	303.68	159,442	〃	〃
平成13年 4月 1日	特例市となる	302.33	292,447	〃	〃
平成18年 3月20日	滋賀郡志賀町を合併	374.06	323,713	〃	〃
平成21年 4月 1日	中核市となる	464.10	334,341	〃	〃

(2) 市　　域



年月日	面　積 (㎢)	摘　　要
明治31年10月 1日	14.20	市制施行
昭和 7年 5月10日	28.39	滋賀村合併
昭和 8年 4月 1日	62.48	石山、膳所町合併
昭和26年 4月 1日	154.50	雄琴、坂本、下阪本、大石、下田上村合併
昭和36年 4月 1日	154.69	公有水面埋立
昭和38年 4月 1日	154.81	〃
昭和39年 4月 1日	154.82	〃
昭和40年 4月 1日	154.85	〃
昭和41年 4月 1日	154.88	〃
昭和42年 4月 1日	303.68	瀬田、堅田町合併
昭和43年 4月 1日	303.74	公有水面埋立
昭和44年 4月 1日	304.18	〃
昭和47年 2月 1日	304.21	〃
昭和50年 2月 7日	304.22	〃
平成元年11月10日	302.17	国土地理院公表
平成 4年10月 1日	302.24	〃
平成 6年 6月 3日	302.30	公有水面埋立
平成 9年 4月23日	302.34	〃
平成15年 4月 1日	302.33	国土地理院公表
平成18年 3月20日	374.06	志賀町合併
平成19年 9月28日	464.10	琵琶湖の市町境界確定